

会 議 概 要

第 1 回 【東葛城校区】 学校適正化に向けた校区懇談会

《開催日》 令和4年 12月 20日（火曜日）

《時 間》 16：00～17：10分

《場 所》 岸和田市職員会館 会議室

《参加者》 地域参加者：5名 教育委員会事務局：6名

<議題等>

- 1 開会
- 2 事務局挨拶
- 3 懇談会参加者・事務局の紹介
- 4 議題
 - (1) 事務局からの説明事項について
 - (2) 意見交換

事務局	(別添資料に沿って内容説明)
参加者	各校区懇談会におけるこれまでの議事概要を市のホームページに掲載されているが、そのことによって地域ごとの対立を招くことにならないか大変懸念している。ある地域ではまだ話し合われていないことが、別の地域では既に懇談会で話し合われ、それが議事概要として公開されている。そのようなことが感情的な対立に発展しないか心配。また、別の地域の複数の議事概要に東葛城小学校が閉校予定といった表現が見受けられた。東葛城校区の一部の住民は既に閉校が決まったことと受け取り、それが原因で校区を離れた方も何人かいらっしゃる。また今後学校がなくなったら、子育てすることが難しく、校区を離れるという方もいらっしゃる。そういった面でも悪影響が出ているのではと考えている。
事務局	校区懇談会の議事概要について、それをホームページに掲載することによって、各校区の対立が生じるといったことは望んでいない。一方、懇談会で話し合われた内容を公開しないことも望ましい形ではないと考えている。 議事概要の公開にあたっては、事前に懇談会参加者の方に内容を確認するなど、事務局と参加者双方が調整を図ったうえでホームページに掲載している。そのような中、校区懇談会は小学校区ごとで実施しているため、

	<p>校区によって意見の違いが出てくることもあり得るが、現在はまだ実施計画（案）の段階であり、ご理解を頂きたいと考えている。また、東葛城小学校の閉校といった内容については、市教委が策定した実施計画（案）の中でお示しているものだが、現時点で閉校は確定していないことを市民の方に伝えていくとともに、今後もわかりやすく、丁寧な情報発信に努めていく。</p>
参加者	<p>議事録の公開を否定しているのではない。議事録ではなく議事概要であり、取り扱いには物足りなく感じている。公文書ではないですね。</p>
事務局	<p>仮に、議事概要を非公開の取扱いにしても、情報公開請求がなされた際は、個人が特定されないことを前提に公文書として示していく必要がある。そのようなことから、市のホームページで積極的に公開している。</p>
参加者	<p>そうであれば、後に学校が存続又は閉校に至った経緯を大学教授や市民グループなどが調査する際は、情報公開請求を行うことでその当時の記録を確認することができるのか。追跡ができるなら、そのような取り扱いが望ましい。</p>
事務局	<p>今後、学校再編に関する動きが生じたときは、行政としての意思決定や市議会の意思決定をオープンにする必要があるため、再編の可否も含めて後年度にわたって確認できるようにしておくとともに、取組全体のプロセスをしっかりと残しておくべきと考える。</p>
参加者	<p>私達の関心事としては、特認校の運営である。自治体（教育委員会）ごとで特認校への関わり度合いが全然違うと感じている。全市を挙げて特認校を宣伝している自治体もある中、岸和田市は一部広報等で周知されているものの、特認校設置に至った経緯が特殊なため、関わりが薄い。もう少し強く関わっていただけたらと地元の住民としては思うところがある。言葉は悪いが、ほったらかしに近いと感じるところもある。</p>
事務局	<p>市で周知できる広報が限られているという状況がある中、「広報きしわだ」に特認校の特集記事を掲載したり、コロナ禍前は竹で作る水鉄砲イベントの記事等も掲載した。また、就学前施設で保護者の方には特認校のご案内をさせていただいている。それで十分かと指摘されると、考え方は様々あるかと思うが、現状としては広報誌を中心にアナウンスしていると</p>

	<p>ころ。</p>
事務局	<p>教育委員会と学校の連携は普段から市内すべての小中学校と十分にとっている。そのような中、東葛城小学校の特認校に関する取組についても教育委員会のホームページで紹介している。今後も様々な場面で、可能な限り情報発信していきたいと考えている。</p>
参加者	<p>先月、150周年記念式典を行ったが、他の自治体では学校の周年行事もホームページ等で取りあげられている。例えば、東葛城校区の子ども発信の絵本「おやまの学校」をご存じか。このような活動ももう少しPRしていただきたい。</p>
事務局	<p>周年行事については学校が中心となって実施しており、各学校のホームページで主に掲載しているが、教育委員会においても各学校の情報をバランスよく発信していきたい。</p>
参加者	<p>学校の小規模化と言われているが、東葛城小学校は150年前から小規模校である。これまでに1学年3クラス、4クラスあった時代は一度もない。江戸の時代から東葛城の村が一つの自治体として成り立ってきたが、その後岸和田市に吸収され、今の時代まで至っているもの。そのような背景を踏まえると、地区に学校は必要である。元々は2つの小学校が地区に存在したが、子どもが減ったから1つにまとめたという事情までは呑める話であった。ただ、現在再び子どもが減少したから東葛城小学校を閉校するという事は、地区をなくすということと同じこと。今の子どもたちは、「今後、外環から山側は柵をされて、この先に昔は河合村や東葛城地区がありましたといった案内の看板だけが残るようになるのではないか」と言っている。笑い話ではない。そのような岸和田市を作っていくのか。地区がなくなった後も市として山や田畑を管理してくれるのか。そうではないだろう。山や田畑が荒れることが災害に繋がる。これまで住民が山や田畑をしっかりと手入れしてきたから災害を少なく抑えてきたが、今増えてきているのは、そこを守る人間がいなくなっているからであり、住民が住まないことには適正な維持管理はできない。私たちが学生の時代、通学路の側溝も見えていたが、今は荒れ放題で溝が見えない状態になっている。非常に危険なため、道路をきれいにして欲しいと市に要望したことがある。子どもたちのためにと言うが、現状子どもたちを守れる安全対策がしっかりとされているのか。岸和田市は山手を見捨てている</p>

	<p>という思いしかない。そのような場所には誰も住もうと思わない。そのため、子育て世代が出ていき、高齢者だけが残っているという現状。若い人にも希望を持てるような施策を打ち出してもらわないといけない。学校を再編する以前にしないといけないことがもっとある。なぜこのようなことになっているのかということ、もう少しよく考えないといけない。</p> <p>昭和30年代後半生まれの世代で1学年2クラスという時代もあった。学校の規模も280人程度で、その辺りの年代が最大であったと記憶しているが、児童の減少に伴い現在は特認校の設置に至っている。特認校においても1学年20名定員という条件のため最大で120名である。東葛城小学校は元々が小規模校である。小規模でも問題になるようなことはない。先日、学力テストの結果が出ていたが、学校ごとに公表すればよい。なぜしないのか。</p>
事務局	<p>市のルールとして学校ごとには結果を公表しないことになっている。府内のほとんどの自治体でも学校ごとの公表はしていない。</p>
参加者	<p>東葛城小学校の児童は24番目なのか。</p>
事務局	<p>それもお答えできない。様々な意見がある中、学校ごとに結果を公表することは非常に難しい部分があると考えている。</p>
参加者	<p>児童が少ないことにより悪いことがあるというなら学力の部分も明確にすべき。</p>
事務局	<p>おっしゃることは理解するが、現状岸和田市では学校規模の大きい小さいが学力結果と関係しているといった傾向は見受けられない。これは生徒指導の面においても同様である。</p>
参加者	<p>山手の住民からすると、小規模だから悪いんですよと言われているとしか思えず、市教委が示す実施計画（案）が入ってこない。なぜ葛城中学校地に計画するのか。それだったら東葛城地区に幼稚園から高校までの一貫した立派な学校を建設したらどうか。修斉や天神山から東葛城に通ってくれたらいい。</p>
事務局	<p>小規模校のメリット・デメリットについては、市教委が策定している小・中学校の適正規模及び適正配置基本方針に記載している。また、小規</p>

<p>参加者</p>	<p>模のままで良いのではないかという考えの方もいらっしゃることは承知している。ただ、市教委としては文科省の考え方や、審議会からの答申、アンケート調査等を踏まえ、小学校であれば1学年2～3学級が望ましいといった考え方の整理をしているもの。</p> <p>東葛城小学校は昔から1学年1クラス。それを2クラス～3クラスにはできないし、これで150年続いてきた。東葛城の子どもは中学校2年生になった時に初めてクラス替えを知る。それで何が悪いのか。何がデメリットなのか。子どもは順応性が高く、いろんな環境に柔軟に適應できる。東葛城校区の子どもは、これまでも小学校、中学校、高校へ進学する中で自然と成長してきた。現在は特認校としてスタートし、1学年20人、全体で120人の学校でやっていこうとしている。それをいまさら統廃合の対象にしますと言われることが納得いかない。私たちは、この120人の学校をいかに良い学校にしていこうかと考えている。そのために、市民協はじめ地域の方々のご協力もいただいている。私たちにとって教育委員会の実施計画(案)は寝耳に水、何をいまさらそんなこと言っているんだという思いである。閉校になるのは嫌だから特認校としてスタートし、現在に至っている。そのあたりの事情を十分に理解して良い案を作ってもらわないと、東葛城地区のためには一切ならないと考える。</p>
<p>参加者</p>	<p>アンケートに関しては、一定の前提条件を与えれば結果は変わるものと思う。確かに、都会で育った方々は小さな学校で大丈夫かと悩むと思う。私の知人もそうであった。ただ、実際に通ってみると、いい学校だなあとおっしゃっていた。また、特認生の保護者の意見も伺ったが、以前と比較して劇的な変化があったとして非常に喜んでおられた。そのような側面も見てもらえたらと思う。実際、東葛城小学校に通わせたい保護者は現状よりも多くいらっしゃる。通わせたいが、時間的、経済的負担があり、そのために断念しているといった声も聞く。そのような観点からも、東葛城小学校がなくなれば特認生として通学する子どもたちはどうなるのかという心配も抱く。市内にそのような学校が1つや2つあってもいいのではないか。</p> <p>また、児童養護施設からも10名程特認生として通学している。当該施設にある地域の小学校は比較的規模が大きく、このことは要するに大規模校に馴染めないからではないか。一概には言えないかもしれないが、何らかの事情で地域の小学校に通えない、通わせることが適当ではないと施設の先生方が判断したのではないか。一方、様々な子どもたちが特認生とし</p>

	<p>て通うことにより、東葛城の地域の子どもたちにとってもものすごくいい刺激になっている。最近では、こども会活動にも特認生の子どもたちがたくさん参加している。先ほどの話にもあったように、子どもたちはどのような環境でも馴染むのだと感じたし、小さい規模であればより濃密な関係を築くことができるんだという実感を持った。このような環境の中で自己肯定感が育まれることにより、中学校、高校と進学するにつれて集団の規模が大きくなったとしても大丈夫なんだろうということも同時に思った。小学校の頃に大きな集団に押しつぶされたという子もいるだろうし、いじめにあって東葛城に移ってきたという子もいる。積極的に東葛城を選んだ子もいれば、逃げ場として選んだ子もいるだろうが、そのような子どもたちと地元の東葛城の子どもたち双方に相乗効果があると思う。そういった意味では実験的に東葛城小学校を残してもよいのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、特認生として東葛城小学校に通うことで非常に良い効果があったという話も学校から伺っている。小規模で静かな環境の方が適応する子どもたちもいるということは痛感している。地元の子どもたちにとっては、たくさんの子がいろんなところから来ることで我慢することもきっと出てくると思うが、それも経験の1つであり、双方にメリットがあるものと考えている。</p> <p>一方、小規模であるがゆえに、クラス替えができないことで人間関係のリセットが難しいといったことはやはり存在するものと感じている。現在の東葛城小学校では、非常に温かい雰囲気地元の子どもたちが特認生を迎えてくれていると伺っているが、もしこの先、何かボタンの掛け違えがあった際は、子どもたちがしんどい思いをしないか心配な部分もあり、本当に小規模校のメリット・デメリットどちらも存在すると感じている。</p>
参加者	<p>学校再編を凶る目的の確認だが、子どもたちにとってより良い教育環境の整備と学校教育の充実を凶るということで違くないか。であるならば、現状よりも教育環境を充実させないと、学校再編がなんの意味も持たないことになる。これ以上良い教育環境は他にないと感じている。コスト削減を取組の目的としていないと言うなら、特認生の通学がネックになっているという話も聞くので、特認校としてより充実するために必要な予算を投入してほしい。東葛城小学校みたいな学校が1つあってもいいと思う。今後も教育委員会と地域が協力してやっていきたい。</p>
参加者	<p>少人数だから良いということだけではなく、少人数でも学級崩壊に近い</p>

事務局	<p>状態になっている事例もあり、そこは先生方の努力の部分もあると思う。東葛城小学校では、先生方の努力で良好な人間関係を継続できている部分があるのと、子どもたち一人一人が柔軟な発想で知恵を働かせながら事前にトラブルを回避している部分があり、そのことによって社会に出るにあたってのいい訓練になっているのではないかとも思う。大きい学校で、友達が多い中で人間関係を築く体験をするのもいいが、小さい学校の固定した人間関係の中で社会性を育ませるといったこともあるだろうと感じる。</p> <p>学校規模の大小に関わらず、いじめ等の事例を未然に防ぎ、豊かな心を育成するといったことはすべての教員が取り組まないといけない大事な部分である。規模の大小による利点や課題は我々も十分に承知しており、どちらにおいても子どもたちにとって一番良い状態を作り上げていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>先日の東葛城小学校 150 周年記念式典で市長、教育長にもご挨拶をいただいた。</p> <p>ご出席いただいたことに感謝するが、その挨拶の中で教育長が適正配置の話題に明確に触れた。その内容についてどのように思ったのか、後で子どもに尋ねたところ、市長はいい学校と言いながら、その一方で適正配置により廃校になると捉えたようだ。矛盾している。このことは子どもたちの頭にも残る。これによって傷つく子がどれほどいるかわからないが、高学年にもなると、ある程度状況を踏まえて理解するもの。このことが今後の成長過程に大きな影響を及ぼさなければよいがと思いながら子どもの話を聞いていたが、さすがにあの場であの内容の発言はちょっと…と思った。</p>
事務局	<p>ご意見として承る。</p> <p>本日、東葛城校区のこれまでのまちの成り立ちや、子どもたちの事を思っている様々ご意見をお伺いしており、今後も結論ありきで進めるのではなく、意見交換を重ねながら、子どもたちのより良い教育環境という視点からどのような形が望ましいのか、より良いまちづくりの観点も含め、じっくりと検討していきたいと考えている。</p>
参加者	<p>先日のスポーツカーニバルで、東葛城地区は 3 つとも入賞した。それぐらい地域で密着している地域であり、この結びつきは本当にすごいと思う。ほかのどの地区よりも団結心が強い。また、保護者の方も協力的で意</p>

	<p>思疎通も容易にできる。保護者から高齢者まで地域全体で子どもたちを守っており、このことも他の地域ではなかなかないものと実感している。ぜひ東葛城小学校をもっと活性化させてあげたいという思いであり、教育委員会もそれに協力していただきたいというのが率直な気持ちである。</p>
参加者	<p>今後は、小規模校のメリットを活かせるような施策を考えていただきたい。そのことが岸和田の教育を外に向けてアピールすることに繋がるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>様々のご意見をいただき感謝する。 本日のご意見も踏まえながら、次回の開催につなげていきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>